

タデ原湿原

大分県玖珠郡九重町

2023年 4月26日

長者原駐車場からの タデ原プチ散策



長者原、ここは「くじゅう連山」の玄関口。まずは平治号にご挨拶。

本日のコース <全行程 2時間>

長者原駐車場 10:19 → 平治号銅像 10:21 → 白水川 10:23 →
タデ原入口 10:24 → <木道を歩く> → 雨ヶ池への分岐 13:30 →
<自然研究路を進む> → 林の中へ 10:34 → 登山道に出逢う 10:45 →
九重登山口 10:57 → 長者原駐車場 10:59

久し振りにくじゅうにやって来た。と言っても登山に訪れたのではない。天候は雨。

しかし何故か、長者原に到着した時に運よく雨が上がった。

さてどうするか？今日は登山の用意はしてきてないが、ここまで来たら自然と足がタデ原に向かっている。タデ原の木道は濡れていたが、1年半ぶりのくじゅうなので少し歩いて見ることにした。



昨日から雨模様の為、車は少ない。



辛うじて指山だけが見えている。 10:19



平治号のお墓に手を合わせようと思ったが・・・ 10:21
銅像の左にあるはずのお墓が見当たらない

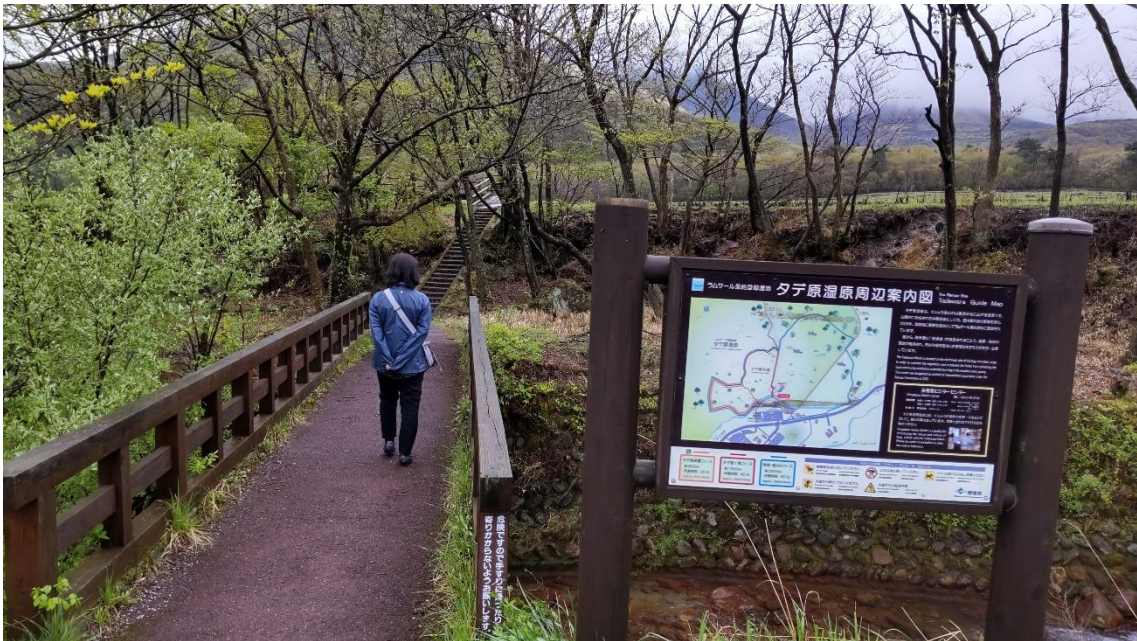


「坊がつる讃歌の碑」を見てタデ原へ 10:22

坊がつる讃歌

作詞: 神尾明正 補作: 松本征夫
作曲: 竹山仙史 編曲: 渋谷沢兆
歌手: 芹 洋子

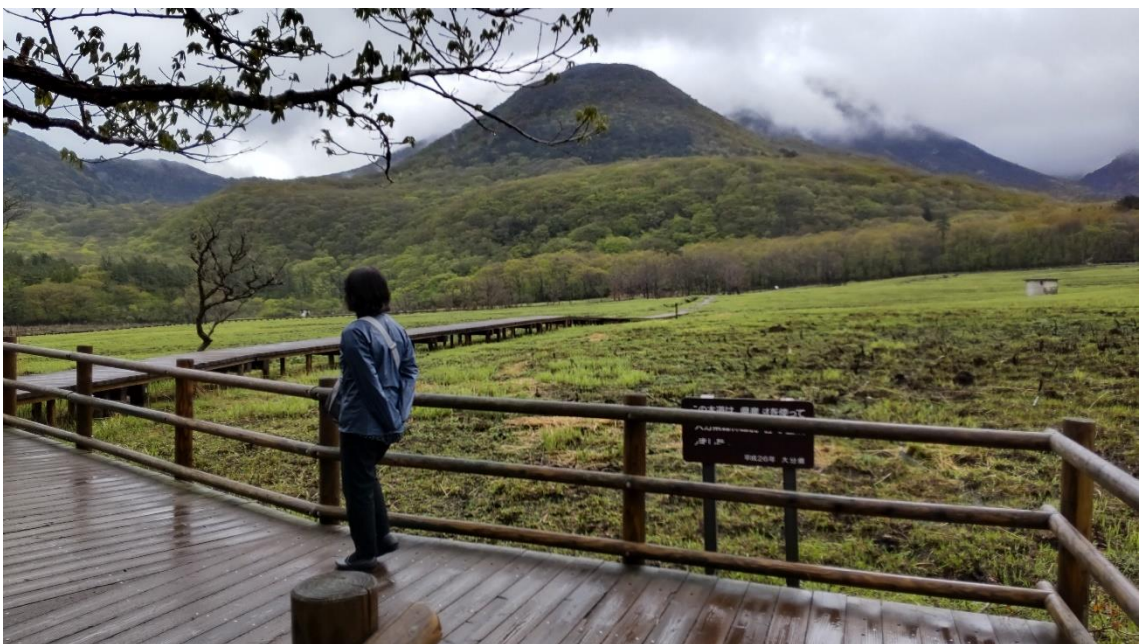
- 1 人みな花に酔うときも 残雪恋し山に入り
涙を流す山男 雪解の水に春を知る
- 2 ミヤマキリシマ咲き誇り 山くれないに大船の
峰を仰ぎて山男 花の情を知る者ぞ
- 3 四面山なる坊がつる 夏はキャンプの火を囲み
夜空を仰ぐ山男 無我を悟はこの時ぞ
- 4 出湯の窓に夜霧来て せせらぎに寝る山宿に
一夜を憩う山男 星を仰ぎて明日を待つ



白水川を渡るといよいよタデ原湿原に突入



この白水川は硫黄分が多く、魚がないとのことだが・・・



タデ原を一望。整備された木道が続いている



単独の女性登山者が大きなザックを背負って山に入っていく
挨拶を交わすと淡々と歩いて行った。



野焼き後のタデ原はやっと芽吹き始めたようだ
まだ花は咲いていない



広大なタデ原：向こう側にもビジターセンターから伸びた木道が続いている



分岐：左へ進むと雨ヶ池(坊がつる)方面 10:30
我々は真っ直ぐ進む



タデ原湿原MAP:自然研究路

登山をされない方も一度歩いて見ることをお勧めします

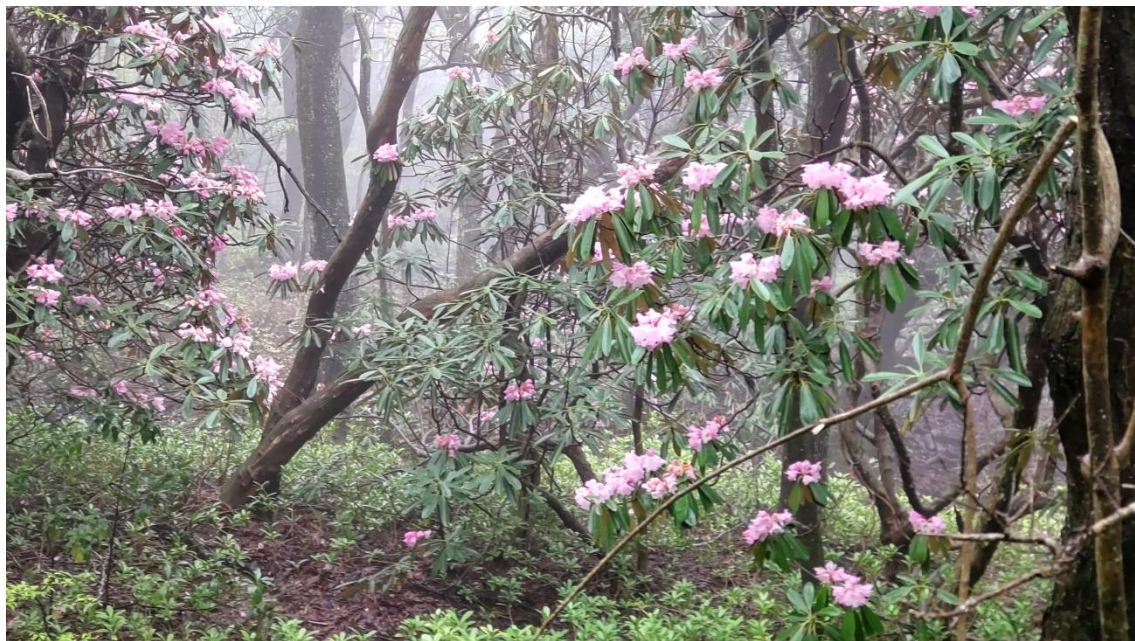


森へ入ると霧が発生

しかしながら新芽のライトグリーンは光って鮮やかだ



ミズナラやコナラの大木が立ち並ぶ
幻想的でいい感じ



シャクナゲの群落が出迎えてくれた 10:40
思わずシャクナゲを見ることが出来てラッキー



雨に濡れてしっとり



木道の傍にはシキミがビッシリ



木道が終わり、長者原からすがもり越へと続く登山道に出た 10:45
右に下って長者原を目指す



雰囲気いいねー



鮮やかなピンク色のコバノミツバツツジ



コバノミツバツツジも雨に濡れてしっとり



長者原の九重登山口へ到着 10:57



白水川と長者原ヘルスセンターの間を歩いて駐車場へ



現在気温は5℃
ゆっくり歩いているので冷えてきた
風が無いので助かった！



筑後川源流の碑



「坊がつる讃歌の碑」の裏側
この歌が生まれた経緯が説明されている。



長者原駐車場 10:59
少し車が増えてきたかな？

40分の散策が終了。スマホの歩数計は3232歩だった。お疲れ様でした。